

文教委員会請願説明資料

令和元年6月27日

件名	頁
(子ども家庭部)	
1 受理番号6	
不登校の子ども達や発達障がい特性のある子ども達とその保護者に対する適切な支援等の創設を求める請願・・・・・・・・・・	1

(教育委員会)

件名	受理番号 6 不登校の子ども達や発達障がい特性のある子ども達とその保護者に対する適切な支援等の創設を求める請願									
所管部課名	こども支援センターげんき 支援管理課、教育相談課 教育指導部 教育指導課									
請願の要旨	足立区の小・中学生の不登校者数は 1,000 名を超えています。不登校に起因する発達障がい特性のある子ども達やその保護者に対する適切な支援、そして子どものいじめや自殺予防などにも対応できる実効性ある支援施策の構築を強く求めます。									
請願者等	請願文書表のとおり									
紹介議員名	長谷川 たかこ議員									
内容及び経過	<p>1 発達障がいのある児童・生徒への支援</p> <p>(1) 小中学校における特別支援教室の配置 小学校...平成30年度末で全校設置済み 中学校...令和元年度に12校、令和2年度に全校設置予定 発達障がい傾向のある児童生徒の特性に応じた環境を構築</p> <p>(2) 発達障がい傾向の児童生徒に対する接し方の向上 学校管理職・教員対象に、発達障がいに関する学校経営と専門性向上の研修を実施し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動の推進(平成30年度 学校管理職向け3回、教員向け16回実施)。</p> <p>(3) ペアレントトレーニングの実施 保護者による子どもの特性の理解と、子育ての孤立感の軽減(平成30年度 1クール7回を2クール実施)</p> <p>【参考データ】</p> <table border="1"> <caption>【参考データ】発達相談件数と小学校特別支援教室利用児童数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>発達相談件数</th> <th>小学校特別支援教室利用児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1033</td> <td>1005</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1684</td> <td>1258</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 不登校支援</p> <p>(1) 未然防止・早期発見 ア 教育相談コーディネーターの配置 イ 不登校マニュアルの活用と長期欠席者情報の共有 ウ 専門職員(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー)の学校への配置</p> <p>(2) 不登校となった後の支援 ア 登校サポーター派遣(お迎え・別室登校支援)の拡充 イ 学校以外(チャレンジ学級、居場所を兼ねた学習支援事業を活用した不登校支援)の教育機会の確保 ウ 不登校特例教室の設置(令和2年度予定)</p>	年度	発達相談件数	小学校特別支援教室利用児童数	H29	1033	1005	H30	1684	1258
年度	発達相談件数	小学校特別支援教室利用児童数								
H29	1033	1005								
H30	1684	1258								

(3) 不登校の悩みをもつ保護者への支援

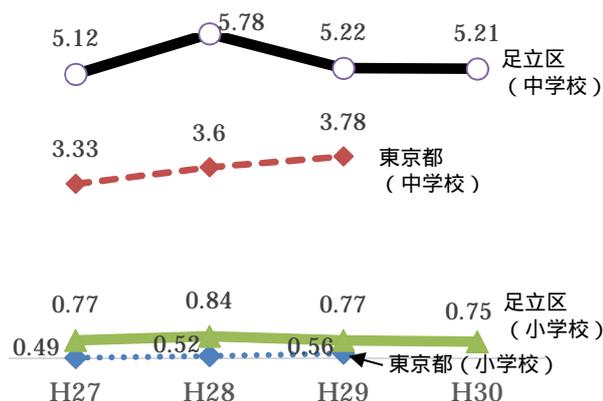
ア 教育相談員による不登校相談の充実

イ 保護者交流会の開催(9月予定)

【参考データ】

東京都と足立区の不登校出現率の推移(%)

不登校児童・生徒数
/ 児童・生徒総数 × 100



3 いじめ予防に関する主な取組

(1) 教育委員会

ア いじめ防止に関する教員研修の実施

イ 電話、ネットによるいじめ相談の実施

ウ 「いじめSOSカード」の全児童・生徒への配付

エ 「いじめに関するアンケート(年3回)」、「いじめに関する一覧表」、「いじめ個票」や指導主事による学校訪問などを通じたいじめの実態把握と関係諸機関との連携

オ いじめ等問題対策委員会(第三者委員会)による実態把握と助言

(2) 学校

ア 「学校いじめ防止基本方針」を策定

イ 「学校いじめ対策委員会」によるいじめの認知の徹底

ウ いじめ相談箱の設置

エ 保護者、地域と連携した「いじめ防止教室」の実施

4 自殺予防

(1) SOSの出し方に関する教育の推進

ア 小中学校全学年で、年1回以上の「生命の尊さ」をテーマにした授業の実施

イ 小学校高学年(5・6年生)時と中学校在学中に各々1回以上、DVD教材「自分を大切にしよう」を活用した授業を実施するとともに、各種相談機関が記載されたカード(区作成)等を配付

ウ DVDを活用した授業において、取り扱う内容に応じて保健師を講師に招聘

問題点等